

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年3月1日

事業所名 多機能型事業所シンフォニー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		別で部屋を設けている	適切なスペースを確保している
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		十分に配慮するように努めている。ウッドデッキにも降りれるようにしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		装飾品などで環境を整え活動しやすい環境にしている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		個別支援計画書に基づき支援方法を決め、終礼時や朝礼時に振り返りをしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			社外、総合コーディネーターからのアドバイスは積極的取り入れ、業務改善を行っている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部講師や社内研修を行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		年1度、アセスメントを実施し、送迎時の会話の中でニーズを拾いながら支援会議を行い計画書を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			不十分な場合は、支援内容に足りない項目を追加している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動担当がプログラムを立て内容は全職員で話し合っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		担当を分けをし支援道具を使い固定化しないようにしている	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		児童の特性に合わせて実施している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝のミーティングで確認しながら情報共有している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気づいたことや気になる事は議題をだし共有している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		書式の改善を行い、分かりやすくしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1度モニタリングを行い、職員で今後の支援内容を話し合っている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者もしくは管理者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		各機関との連携に努めている	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主治医の連絡先や訪問医等連絡出来るようにしている。医師の指示書をもっている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			共有できれば検討したい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		機会がないため今後行えるように相談したい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		職員の子供が来所することがあり交流している	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳、電話、送迎時に児童の状況・課題等情報共有している	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に重要事項説明書を用いて説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		声掛けをして話やすい環境にしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			新型コロナウイルスが落ち着けば開催を考えている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ホームページやインスタグラム、情報ツールにて案内している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人情報取り扱いを説明し、同意書にサイン・捺印をしてもらい写真掲載については顔が分からないように取り組んでいる。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		児童それぞれに合った方法で意思疎通を行い、保護者とは、面談、送迎、電話等でコミュニケーションを取っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		新型コロナウイルスが落ち着けば検討したい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			マニュアル作成している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		相談支援員と連携し情報共有している。体験時に確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			指示書を確認し対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットを記載し情報を共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修を行い防止に努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			事前説明、了承して頂きサービス計画書に記載したいと考えている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。